

2021年度 慶應義塾大学 一般選抜  
文学部 外国語（フランス語） 解答例

各設問についての出題の意図は以下の通りである。

I

ある程度の長さのあるフランス語の文章に関して、速読能力と全体的な理解力を問うものである。多少知らない表現が出てきても、文脈の中で推測・補完しながら読んでいくことが大切である。物語を要約するにあたっては、その「構造」、つまり、どのように物語が組み立てられているかを意識することが望ましい。

II

学術的な文章をていねいに読み解く能力を問うものである。普段から、日本語、外国語を問わず、論理的に組み立てられた文章に慣れておくことが望まれる。フランス語の学術的なボキャブラリーを習得しておく、英語はもちろん、他の西洋の言葉の理解にも将来的に役立つ。またフランス語の場合、3人称の指示語が何を指しているか、常に意識することが望ましい。

III

一つのテーマについて、フランス語で述べる能力を問うものである。自分を取り巻く様々な問題について日頃から考えておくと、こうした外国語の作文にも役立つ。最適な表現を思い浮かなくても、言い換えながらフランス語で表現する技術も習得することが望ましい。同時に、論をつなぐための接続詞的表現などにも気を配ることが必要である。

以上